

## 泉大津の和紙プロジェクト始動

# 日本独自の素材としてアピール 和紙製品の取扱量日本一の町へ



泉大津の若手経営者が集まり、日本独自の素材として和紙が原料の抄織糸（ペーパーヤーン）を新しい天然素材としてアピールする活動の輪を広げている。独特のシャリ感や吸湿性、通気性などが魅力となっており、着実に市場を拓いている。和紙製品取扱量日本一の町として産地活性化を目指す若手経営者、株式会社アイストープ（泉大津市池浦町1-5-19）の金沢克哉社長、カスガアパレル株式会社（泉大津市春日町3-27）の今井浩輔社長、SASAWASHI株式会社（泉大津市旭町22-45）の糸井利典取締役による取り組みを聞いた。

各社の取り組みを紹介する前に、新しい天然素材として和紙の糸を普及するために有志が参加する「和紙の会」を紹介しよう。3年前に結成された勉強会で、製紙会社や捻糸会社、加工販売会社など和紙に関係する有志が3〜4か月に1回会合を持ち、製紙工場を見学するなど紙の糸を普及するために会合を重ねている。紙の糸は完成されたものではなく、発展途上の素材であり、技術面の開発・改良を進める意味合いも大きいようだ。参加者は「綿に代わる日本

独自の素材」として、普及への取り組みを強めている。

株式会社アイストープは、針葉樹を原料とする和紙から作った糸である抄織糸「森林和紙」（商標登録）を、製紙メーカー、捻糸企業と共同開発した。特別に薄い和紙を作り、既存の抄織糸の半分程度の細い糸にしているため、ハイゲージニットにも対応可能。独特のシャリ感があり、価格が安いのも特徴。価格の安い針葉樹を原料としていることに加え、流通経路を短縮したことで、通常の抄織糸に比べ大幅にコストダウンした。また、環境にも配慮しており、森林和紙は森林管理の国際的基準である



香港ファッションウィーク

FSC森林認証制度のCOC認証を受けた製紙工場で製紙された素材を使用している。

「和紙の糸はニットではかなり市場に流通していた時期がありました。が、価格が高くなりすぎて、流通量が減ってしまいました。ただ、潜在的な需要はありましたから、自社開発を進め、昨年から大量に販売するようになりました。昨年9月から今年4月までに13トン消化しています。3〜4万枚の抄織糸のセーターが流通しています」（金沢社長）と手ごたえを掴んでいる。

カットソーOEM（販売先ブランドによる生産）のカスガアパレル（株）はマニラ麻を原料とした和紙の抄織糸「癒紙乃糸（いやしのいと）」を使ったカットソーを商品化している。太さ1・5ミリの極細カットと特殊な捻糸により商品化されたカットソー用糸を使用し、独特なシャリ感とリネンのようなドライな風合いで軽量、吸水性もある新素材。

「かねてから和紙の糸でカットソー商品を考えていましたが、当時の糸は太くカジュアル向けで、技術的に細くできるところがありませんでした。試行錯誤のすえに、強度のあるマニラ麻を使うことで太さ1・5ミリのカット用の糸が開発されました。軽い着心地が最大の特徴です。カタログ通販などで固定客がついて

株式会社アイストープの展示コーナー



代表取締役社長  
金沢 克哉氏

株式会社アイストープ

カスガアパレル株式会社の展示コーナー



代表取締役社長  
今井 浩輔氏

カスガアパレル株式会社







います。今まではレディースだけでしたが、展示会ではメンズの反応が良く、素材感が重視されるメンズのOEMに期待しています」（今井社長）

SASAWASHI(株)は、くまざさ（限徴）を漉き込んだ糸「ささ和紙」を約10年前に独自開発し、布に織り上げたささ和紙の布を使って「SASAWASHI」のブランド名で糸から最終製品まで作り販売している。

とその効果をそのままに製品に生かすことに成功しました」（糸井取締役）。

今までも、これからも、くまざさと和紙をベースにしたものにこだわって製品展開していく考えで、平成16年（2004年）には現社名に変更し、ブランド名と統一した。

「ささ和紙の魅力は、その素材感です。それを伝えていくために、同じ商品を安定して作ることに努めています。当社の扱っている商品はファッション商品ではありませんから、色やサイズはベーシックなものに限り、消費者にはその中から好みの商品を選んでいただくというスタイルをとっています」。現在展開している商品は、スリッパ、タオル、靴下、セーターや、派生商品としてシャンプリーや石鹸など15アイテム。発売以来変わらない商品も多いという。その素材感が消費者を魅きつけているようだ。

泉大津はかつて織物やニットなど繊維業が盛んな産地であったが、海外生産に押され停滞している。そうした中で産地の活性化を図り、産地復活を目指すのが、和紙製品取扱量日本一の町を目指す若手経営者の取り組みだ。泉大津市が目指すエコ・コンパクトシティ都市にもかなう。今後とも、紗織糸の動向に注目したい。

です。



取締役 糸井 利典氏



SASAWASHI(株)の展示コーナー



メンズ5本指ソックス

SASAWASHI 株式会社